

びわこリハビリテーション専門職大学図書館



『運動脳』

アンデシュ・ハンセン著；御船由美子訳
サンマーク出版／2022 年
ISBN 9784763140142

最近、身体を動かしていますか？座りながら PC やスマホの画面ばかり見ていませんか？本書は、運動が脳にもたらす良い影響を様々な実験結果をもとにわかりやすく解説しています。効果がある具体的な運動方法も書かれているので、読めば運動したくなること間違いなしです。

立命館大学図書館



『盲目物語：他三篇』

谷崎潤一郎著
中央公論新社／2021 年
ISBN 9784122071568

『盲目物語』盲目の按摩師が語る信長の妹お市の方の話です。ひらがなが多く少々読み慣れない文体ですが、「わたくし生国は近江のくに長浜在でござりまして・・・」から始まり滋賀県ゆかりの地も出てきますので、想像力を膨らませながら谷崎文学を楽しんでみてはいかがでしょうか。

龍谷大学図書館



『Factfulness : 10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』

ハンス・ロスリングほか著；上杉周作，関美和訳
日経 BP 社／2019 年
ISBN 9784822289607

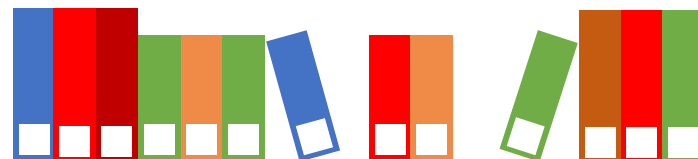
全世界で 300 万部の大ベストセラー。先入観を排し、データに基づく事実で判断する。そんな当たり前のことが如何に難しいのか、様々な事例が紹介されます。自分はそんなに非常識じゃない、と思っている方は是非一読を。知っているつもりになっていたあなた自身に出会えます。

『滋賀県大学図書館のおすすめ本』 Vol.2

- 掲載の図書は必ずしも各大学で所蔵しているわけではありません。まずは所属大学の図書館でご確認ください。

発 行：滋賀県大学図書館連絡会
発行日：2023 年 3 月

滋賀県大学図書館のおすすめ本



Vol.2

滋賀県内の大学・短期大学図書館が
大学生にお薦めするブックリストです。
このリストを通して、新しい世界に触れ
てみませんか？



滋賀医科大学附属図書館

『しんどい時の自分の守り方：10代から知っておきたいメンタルケア』



増田史著
ナツメ社／2021 年
ISBN 9784816370779

「なんだかちょっとしんどい」「なんとなくモヤモヤする」そんな気持ちになったことはありませんか。「しんどさ」を抱えた中高生へのメッセージには、その対処法が示されています。本人だけでなく周りの人も「お互いに気持ちがラクになる」そんなヒントが見つかるかもしれません。

滋賀県立大学図書情報センター



『三つ編み』

レティシア・コロバンニ著；齋藤可津子訳
早川書房／2019 年
ISBN 9784152098559

全く別の地域に住む 3 人の物語にまず引き込まれます。3 人は女性であり、全く別の、どうしようもない運命に翻弄されます。抗えないと思った闘いを変えたのは、それぞれが持っていた、やはり全く違う「髪」への思いでした。読み始めたら止まらなくなる本です。

滋賀短期大学図書館

『箸置きの世界：食卓の小さな遊び』



串岡慶子著
平凡社／2022 年
ISBN 9784582635287

食卓で箸の先をのせる「箸置き」。季節や行事を表したもの、生き物や植物を模したもの等、実は箸置きには様々な種類があるのを知っていますか？本書では約 700 点の箸置きがカラー写真で紹介されています。さらに、古代から現代までの箸置きの歴史や使い方等も解説されています。

滋賀大学附属図書館

『レポート・論文の書き方入門 第4版』



河野哲也著
慶應義塾大学出版会／2018 年
ISBN 9784766425277

レポート課題に何をどう書けば良いのか分からないと悩んだことのある方には特におすすめします。この本ではレポート執筆にあたり、テキスト批評という方法が紹介されています。また、引用文献等の表記方法の例が豊富で、見本レポートまで収録されているので参考になると思います。

滋賀文教短期大学図書館

『私のことば体験』



松居直著
福音館書店／2022 年
ISBN 9784834086720

2022 年 11 月に逝去するまで、長年子どもの本の編集にかかわり、絵本の大切さを説いてきた著者。なぜ絵本が子どもの成長に重要なのか。母によって与えられた日常的なことば体験や、戦中戦後の時代の移り変わり、編集者として何を大切に絵本を作ってきたのか語られる。

成安造形大学附属図書館

『さばの缶づめ、宇宙へいく：鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』



小坂康之、林公代著
イースト・プレス／2022 年
ISBN 9784781620428

福井県小浜市の高校生と、教師ら大人たちが、教育困難校からさば缶を宇宙に送った実話。「大きな夢」をかなえたケースで、それを成し遂げた人々がじっさいどのように動いたのか、を知りたいならこの本を読むと良い。夢は念ずるだけではかなわない。教職課程の方にもおすすめ。

聖泉大学図書館

『日本幻想小説傑作集Ⅰ・Ⅱ』



阿刀田高編
白水社／1985 年

ISBNⅠ：9784560070758・Ⅱ：9784560070765

有名な太宰治や江戸川乱歩だけでなくあまり耳にしない作家も手掛けた「幻想小説」がぎゅっと詰まった短編集です。もし過去に読んだことがある短編があっても、当時読んでいた頃とは違った視点から想像できるかも？また「この作家さん面白い！」と新たな発見になりおすすめです！

長浜バイオ大学教育・学術情報センター図書室

『弱いロボット』



岡田美智男著
医学書院／2012 年
ISBN 9784260016735

ごみの前でまごまご、子どもが拾ってあげるとベコベコ。そんなお掃除ロボットの周りはいつの間にかきれいになっています。この本で筆者は「何気なくって何だろう」と問い続けます。そして生まれたのは、自分だけでは何もない一他力本願な「弱いロボット」たちでした。

びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部図書館

『京（みやこ）のまちなみ史：平安京への道 京都のあゆみ』



丸山俊明著
昭和堂／2018 年
ISBN 9784812217153

倭国に始まる日本に都城が成立し、その後の遷都を経た最終形態の平安京が、現代京都へと移行していく中で、都市構造や住宅様式はどのように変容していったのか。その過程を、木戸門による治安制度や火消の消防制度をからませて解説する。人文地理や都市史分野でも注目の書。

びわこ成蹊スポーツ大学図書館

『人を動かす』



D.カーネギー著；山口博訳
創元社／2016 年
ISBN 9784422100982

アメリカでの初版が 1936 年。日本でも長年読み継がれている「人間関係の原則」本。タイトルは使役だが、内容は自身の行動について。人は人間関係で何を望んでいるのか。その原則は時代が変わっても国が違って同じようだ。学生時代そして社会へでてからまた読んでほしい一冊。